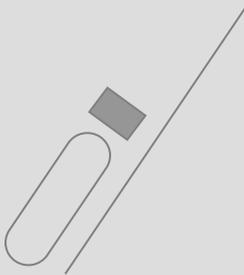




グローバル化とジェンダー



ジェンダーと人権で考える
社会統制の諸制度

寺中 誠（東京経済大学）



グローバル化の実相





グローバル化と貧困

人、モノ、カネ、情報が国境を越えて流通する
世界人口の98%は「移動しない」
＝故郷を離れて移動する人は2%





移住家事労働従事者

1990年代以降活発化

国際的に進行する再生産労働の分業化

フィリピン、インドネシア、スリランカなど

サウジアラビアで働くフィリピン人女性は、
120万人。サウジの人口よりも多い。

再生産領域のグローバル化（性産業従事者
／人身取引を含む）

「国際移動と＜連鎖するジェンダー＞」伊藤るり、足立真理子編著



サウジアラビアの家事労働者

インドネシア女性NeNeng

16歳の娘の生活費を稼ぐ
ための出稼ぎ労働

苛酷な労働条件

面倒を見ていた赤ん坊が
死亡→死刑判決

インドネシア大統領による
介入で釈放





サウジアラビアの家事労働者

■ インドネシア女性Ruyati

■ 苛酷な労働に耐えかねて口論の果てに暴行する雇用主の母親を殺害

■ 死刑判決→処刑

■ インドネシアは報復措置としてサウジへの渡航を禁止

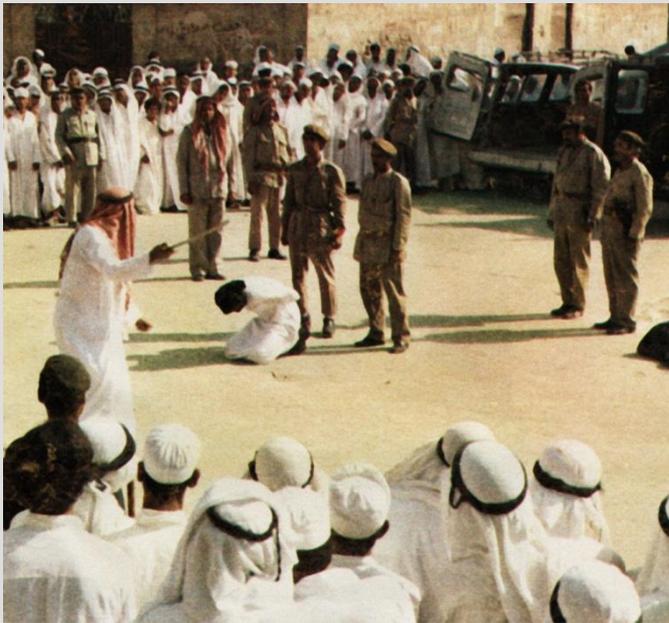
■ 依然、20数人のインドネシア人家事労働者死刑囚





サウジアラビアの死刑

「血の購い」の制度→貧困層ほど死刑に
公開処刑





米国・メキシコ国境

シウダート・フアレスでは、300人に上る女性たちが殺害されており、その真相は闇に包まれている。

妨害される捜査

経済特区と利権

「Bordertown」

Jennifer Lopez

Antonio Banderas





入国管理政策と国民国家

■ 国民＝国家とグローバル化

■ 監視・管理される対象としての「国民」

■ 入国管理という制度の誕生（近代）

■ 「パスポートの発明」

■ 「テロ」＝「外から」のおかしさ

■ 定住管理政策の重視＝「先住民族」の無視



無国籍者化する先住民族

ビルマのアラカン州のロヒンギャ





先住民族への攻撃

強制失踪事件や強制不妊手術





移民社会の中の閉鎖性

■ ドイツで増加するDV～名誉殺人

■ 言語によるコミュニケーションが苦手／識字率が低い移民女性→孤立化

■ 進まない再定住政策（「郷にいれば郷に従え」の抑圧）→日本政府が進めていたビルマ人難民の再定住政策のとん挫

■ 多文化共生社会を構成することの必要性
ex. 警官（＝社会統制手段）の構成など



移民社会の治安状況

「移民社会は犯罪が多発する」という命題

文化葛藤などで説明されることが多かった

実際には、移民社会だからではなく、その社会の中での立場が大きく影響している

逆に、移民社会でなくても、社会の中の立場に大きな格差があり、十分な社会的資源を与えられていない場合には治安が悪化する

→グローバル化の進展とともに治安悪化



移民社会への攻撃

イスラムフォビア





文化相対主義と人権

スカーフは女性の人権侵害の象徴か？





「人権」とは？

「権利—義務」関係

「最後の手段」としての人権

侵害された側に立つ

